

ライチョウ調査に行ってきました！ Vol.1

中部大学 応用生物学部 環境生物科学科 4年 大久保 嘉人

7月18～31日までの約2週間、太郎平小屋に滞在させていただき、上ノ岳（北ノ又岳）におけるライチョウ調査（ライチョウの採食観察と行動軌跡上の植生把握など）を行いました。今年は小屋開け時期での残雪量が例年よりも多かったため、昨年よりも2週間ほど遅い入山となりました。研究室では昨年までの3年間は太郎山周辺を調査していましたが、今年からは近隣に調査エリアを広げることになりました。期間中、悪天候により3日間調査ができませんでしたが、上ノ岳で雛3羽連れのファミリーを5回、雛1羽連れのファミリーを1回、成鳥雄を2回、太郎山周辺で雛1羽連れのファミリーを1回確認することができました。上ノ岳には3ファミリー以上は生息していると思われます。上ノ岳はハクサンイチゲの開花シーズンでした。太郎山周辺の植生とは異なり上ノ岳の草丈が高く、採食観察は厳しい状況でした。最終日には、ライチョウの目撃情報が多い薬師岳にも足を伸ばしましたが、今回は残念ながら出会えませんでした。以下に、現地の写真を3枚紹介し、現地での感動をお伝えします。



写真1 雪上を歩く親子（2017/7/20 富山県 上ノ岳山頂付近）

上ノ岳は太郎平と比べ残雪が多く、雛が雪の上を歩く光景が多くみられました（写真1）。ライチョウが雪の上にいるのは当たり前だと思われるかもしれませんが、冬に調査を行えない私にとっては貴重な瞬間に思えました。雛とは言え、やはりライチョウ。かわいい顔に似合わず、たくましい脚で雪上を歩いていました。



写真2 満天の星空 (2017/7/21 富山県 太郎平小屋周辺)

小屋の消灯時間である 21 時直前にふと外に出てみました。雲ひとつない星空が頭上に広がっており、天の川もくっきりと見ることができました。これは撮らねば！！と急いで光のない場所まで撮影をしに行きました。標高 2,300m を超える場所なので空気は澄んでおり、星の瞬きを邪魔するものが何もない状態であったからこそ撮れた 1 枚です (写真 2)。



写真3 ライチョウの見る先は (2017/7/21 富山県 太郎平)

最後は太郎山で発見したライチョウの母親です。上ノ岳と比ベササやハイマツなどが少なく、斜面もきつくないため非常にきれいにライチョウを撮影することができました。目をよく見るとライチョウのしている景色が映し出されています。

8月下旬には再度調査に入ります。僕たちを現場で見かけたらライチョウの追跡中ですので、優しく見守っていただけると嬉しいです。